

平成 29 年度第 1 回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
議事要旨

- 開催日時 平成 29 年 5 月 16 日(火) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
- 場 所 市役所第二庁舎 10 階 会議室 203
- 出席委員 分科会委員 15 人
小林 治晴 長野市議会議員
塚田 まゆり 長野市教育委員
丸田 俊也 長野上水内校長会（古里小学校長）
水口 崇 信州大学教育学部准教授
矢上 克己 清泉女学院短期大学教授
青木 一浩 長野市民生児童委員協議会児童母子（父子）福祉部会長
大日方 進 長野市放課後子ども総合プラン館長施設長会会長
黒柳 博仁 長野市幼稚園・認定こども園連盟会長
峰川 暁見 長野市私立保育協会会長
岡田 美由紀 公立保育園園長会（山王保育園保護者会長）
小林 恵美子 長野市幼稚園・認定こども園連盟（若草幼稚園保護者会長）
望月 亮 長野市私立保育協会（古牧東部保育園保護者会長）
池田 敦美 公募委員
柄澤 禮子 公募委員
柳澤 恒子 公募委員
- 欠席委員 分科会委員 1 人
西澤 武十 一般財団法人長野県児童福祉施設連盟（三婦寮施設長）
- 出席事務局 16 人（上杉こども未来部長、櫻井こども政策課長、丸山マリッジサポート課長、中澤保育・幼稚園課長、上石学校教育課長ほか）
- 傍聴者 1 人
- 報道機関 1 社

発言者	内容
事務局	<p>1 開会 ・分科会として成立していることを報告 ・公開であることを説明</p> <p>2 挨拶 ・こども未来部長</p> <p>3 委嘱書の交付</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 事務局自己紹介</p> <p>6 会長及び副会長選出 ・委員の互選により、会長に水口委員、副会長に青木委員を選任</p>
(事務局)	(配布資料の確認)
事務局	<p>7 議事 (1) 資料1に基づき、平成30年度長野市の保育所等利用者負担額について説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》 特になし ⇒次回以降の会議で説明等を行うことを確認</p>
事務局	<p>(2) 資料2に基づき、長野市放課後子ども総合プランについて報告</p> <p>《各委員からの質問・意見》 特になし</p>
事務局	<p>8 長野市版子ども・子育て会議 (1) 資料3に基づき、長野市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価及び中間見直しについて説明</p>
委員	<p>《各委員からの質問・意見》 中間見直しについて、待機児童の問題のある都市部には必要と思うが、長野市の場合は少し状況が違うと思う。0歳や1・2歳の保育のニーズは増えているが、総体として就学前の子どもは減少に転じているのが実態。</p>

事務局	<p>量の見直しをする場合、提供区域の設定をしてあるが、提供区域全体として調整をする方向で考えているのか、それとも提供区域に含まれる地区ごとに細かく調整するのか。</p> <p>プラスマイナス 10%のかい離については、国から提供区域ごとに見直しが必要と指示が出ているので、まずはそれに沿って状況の確認から始めていく。</p> <p>国の全体的な政策の基礎資料となるため、国の手引きに準拠して行っていきたい。</p>
事務局	<p>本市の未就学児童数はこの 10 年間で 2,749 人、12.8%減少している。保育所の入所児童数も 3 歳や 4 歳以上の子は減っているが、逆に 0、1、2 歳の子は増えている。0 歳児がかなり増えていて、出産後 1 年以内に復職する親が多くなってきていることが分かる。</p> <p>保育所等の保育士の配置については、年齢ごとに基準があり、例えば 4、5 才については 30 人に 1 人の配置、0 才については、3 人に 1 人の配置基準となっていて、基準に基づき保育士を配置しているが、3 歳未満児の保育需要の高まりを受け、保育士不足が課題となっている。</p>
委員	<p>保育士不足は切実である。確保できるなら 0 歳児も受け入れられるが、なかなか難しい。</p> <p>国は見直しの中で、園児の量的なチェックを要望しているが、その先には保育の質の向上が挙がってくる。保育士のキャリアアップ・処遇改善を進め、質の担保をしていかないといけない。</p>
委員	<p>学校法人の幼稚園という立場について、子ども・子育て新制度の中では、教育・保育の充実ということで、教育を行うという観点から、幼稚園について委員の皆さんに再認識をお願いしたい。</p> <p>子どもがより良い環境の中で教育を行っていく一方で、定員を増やさないと経営面でやっていけない。定員一杯に受け入れをしている施設がある一方で、市内の幼稚園は、28 園中 6 園が定員の 40%未満となっており、偏りが出てしまっている。幼児期の教育を行ってきた幼稚園の在り方の振り返りがされていない。新制度においての幼稚園についても、委員の皆さんに検討をお願いしたい。</p>
委員	<p>放課後子ども総合プランについて、利用を希望する子どもたちが安全・安心な環境で育つために、現在、各施設の状況についてのアンケートの実施をお願いしている。各施設の状況を委員の皆さんにも知ってもらいたい。</p>

委員	<p>長野市は、子ども・子育て支援に係る事業のメニューが多いと感じているが、量的に足りていても質的な部分を担保していかないと、形だけの改革になってしまうのではないかと。</p> <p>また、計画では確保方策があるが、どのようにアクションを踏んでいくかがないと、手順を踏んで終わりとなってしまう。</p>
事務局	<p>保育士等の質の向上が大事というご意見については、各種研修の実施のほか、施設型給付の対象施設の確認・指導監督をしっかりと行い、給付に見合った質が確保されているか、研修のあり方を含め、今後チェックをしていきたい。</p> <p>確保方策については、施設の意向や予算化等の制約もあり、基本的な方向性をうたっていることをご理解いただきたい。どの程度具体的に記述できるかについては、中間見直しの中で改めて検討したい。</p> <p>幼稚園については、長野市だけでなく他の市でも人数が減ってきていると思う。今後、幼稚園についても新制度へ移行する園が増えてくるのではないかと。そうすると、中核市又は市町村に指導監査に係る権限が下りてくる。</p>
委員	<p>保育所から認定子ども園への移行は難しくないが、幼稚園から認定こども園に移行する場合に、必要な設備を整える等施設の改修が必要となり、財政的な負担等があって難しさを感じる。</p>
事務局	<p>保育所では食事を提供するの、調理室の設置等が必要となり、その経費がネックとなっている。国の助成制度の活用などもあるが、この辺りについても今後の検討課題である。</p>
委員	<p>放課後子ども総合プランについて、答申の附帯意見にガイドライン作成とあるが、施設には違いがある。おやつを出す施設、出さない施設、それぞれの考えを聞けば、それぞれが納得できる理由である。各施設の支援員の意見を聞いて、違いを把握した上でガイドラインの作成をお願いしたい。</p>
事務局	<p>地域や施設による違いがあることを考慮した上で、ある程度の統一的なものが必要と考えている。国が作成しているガイドライン等を参考にし、施設の意見もお聞きしながら、検討いただく場である放課後子ども総合プラン推進委員会へお示ししていきたい。</p>
委員	<p>放課後子ども総合プランについては、各施設間での情報共有が大切と思うので、館長会等で情報交換を行ってほしい。</p>
委員	<p>昨年度、こども政策課、社会福祉協議会、館長会、支援員の4者で</p>

委員	<p>会談を行い、情報交換を行った。今後も問題点を共有して改善していきたい。会議は1回だけでなく、複数回行った方がよいと思うが、決められた支援員の人数でやりくりしていることもあり、難しい面もある。</p> <p>会議に出向くということだけでなく、インターネットなどのツールを活用してはどうか。1つの施設で起きたことは他の施設でもありえることである。問題が起きたときに情報を早くキャッチして共有することは、事故を未然に防ぐためにも必要である。</p>
委員	<p>児童館、児童センターはインターネットは繋がっていない状況である。</p>
委員	<p>不審者情報等のメール配信はどうなっているのか。</p>
委員	<p>個人で教育委員会の安全・安心ネットを活用しているが、施設間のネットワークは整っていない。</p>
委員	<p>研修等で体制は整っていると思うが、いじめの兆候を察知するなど連絡を取り合っていく必要がある。これは放課後子ども総合プランの有料化とは関係なく進めていくべきことと考える。</p> <p>⇒本日の質問・意見を踏まえて事務を進めることを確認</p>
事務局	<p>9 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催が8月下旬になる予定であることを連絡 <p>10 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>